



■施工方法

施工上の ご注意

- 1000BASE-T伝送の配線は電力配線と15 cm以上の離隔距離を設けることをお勧めします。電力配線からのノイズにより、まれに伝送不良が発生することがあります。
- インパクトツールは当社製NR2470または同等品 (110端子用シングルタイプ) をご使用ください。適合しないツールを使うと接続端子を損傷することがあります。

適用電線: AWG24-22 (φ 0.5-0.65 mm) 単線及びAWG24より細の「CAT5E対応UTPケーブル」

①カバーをはずす



スライドさせてはずす。

②モジュールを取りはずす



注) ヒンジ部を押しすぎないようにしてください。

③キャップを本体からはずす



※できるだけ先端をつまんでください。



キャップのツメ

キャップのツメの先端をつまみながらはずす。

④ケーブルの外被をむき、モジュラジャックに固定する

外被を50 mm程度むき、外被の先端を「ケーブル固定部」にはめ込む。

注) 心線を傷つけないように外被をむいてください。



ケーブル固定部

⑤心線を溝に挿入する

ラベルの表示色に合わせて挿入する。

※燃りの中心を、溝の突起に押し当てて広げながら挿入する。燃りがきつい場合は、少し燃りを戻して挿入する。



⑥心線を結線する

キャップの先端工具を使用する場合



- ① キャップの先端工具で心線を1本ずつ押し込む。
- ② 余った線をニッパー等で切断する。

注) φ 0.65の電線は、インパクトツールを使用してください。



キャップの先端工具

インパクトツールを使用する場合



ブレードの切断刃を外側に、心線をしっかり押し込む。

ブレードの切断刃

ご注意



このようなブレードのツールは使わないでください。

⑦キャップを装着する

「カチッ」と音がするまで押し込む。

注) キャップがしっかりと装着されていない場合は、キャップ先端工具で再度心線を十分に押し込んでください。



⑧モジュールを取り付けケーブルを固定する

ケーブル固定部



- ① モジュールを「カチッ」と音がするまで押し込む。
- ② ケーブルを「ケーブル固定部」に収容する。
※必要に応じてケーブルにインシュロックタイを使用できます。
(選定インシュロックタイ: 幅2.5 mm-3.5 mm)
※木ねじを使用し木板等に本体を固定することができます。
(適用木ねじ: φ 3.1 mm 長さ10 mm以上)
- ③ カバーをスライドさせて閉じる。

結線図

T568A



T568B



カラーチップの交換方法

はずし方

はめ方

カラーチップを押さながらカバー裏面より指でつまんで押し上げてください。



注) カラーチップは必ず装着した状態で使用してください。
ほりこり等がたまり導通不良の原因となります。

指で押し込んでください。



カラーチップ (別売)
※NR3511Lほか各色あります。

取り付けかんたんマグネット付

●マグネットは取りはずしができます。



ご注意

1. マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。記録内容の消失の恐れがあります。
2. モジュラジャックをOAデスク等に取り付けたままずらさないでください。接点面によってはキズがつく恐れがあります。